



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
 コード番号 3900 URL http://crowdworks.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉田 浩一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)佐々木 翔平 (TEL) 03(6450)2926
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	900	—	△434	—	△433	—	△477	—
27年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 △481百万円 (-%) 27年9月期第3四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	△35.98	—
27年9月期第3四半期	—	—

(注) 1. 平成28年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年9月期第3四半期の数値及び平成28年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 平成28年9月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、新株予約権の残高はありませんが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	3,035	1,926	63.4
27年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 1,924百万円 27年9月期 -百万円

(注) 平成28年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年9月期の数値を記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	—	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,230	—	△590	—	△590	—	△640	—	△48.20

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 平成28年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

3. 業績予想の修正については、本日(平成28年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一 : 無

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結会計期間において、「株式会社SeAL」の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年9月期3Q	13,277,660株	27年9月期	13,277,660株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年9月期3Q	—株	27年9月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年9月期3Q	13,277,660株	27年9月期3Q	12,290,019株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、第1四半期連結会計期間において「株式会社SeAL」の全株式を取得したことで、連結子会社としているため四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、中国を中心とした新興国経済の減速や、原油価格の低調推移、個人消費の停滞等、依然として景気の先行きは不透明な状態が続いております。

そのような経済環境において、従来の正社員中心の雇用に代わり、フリーランス等、多様な働き方を求める機運が高まっております。情報処理推進機構の『IT人材白書2016』によると、「自己のライフプランに合わせるため（自分自身のため）」を目的としてフリーランスになったIT人材の内、83.3%の人がその目的を実現できたと感じている等、新しい働き方を選択した際の満足度は相対的に高く、今後もますます多様な働き方が広がっていくことが見込まれます。

このような環境下、当社グループは『“働く”を通して人々に笑顔を』というミッションのもと、多様な働き方の選択肢を提供すべく事業を推進してまいりました。

プラットフォームサービスにおいては、評価や獲得報酬額等、定められた基準を満たしたクラウドワーカーに、仕事能力の高いプロフェッショナルとして認定する「プロクラウドワーカー」制度が定着したことで、主要な職種で、プロクラウドワーカーの契約単価の高額化が進みました。また、エンタープライズサービスにおいては事業基盤の強化を継続したことで、リピートクライアントからの安定発注が増加し、収益のストック化がより一層進んでおります。

以上により営業収益は順調に拡大している一方で、将来的な業容拡大を見込んで引き続き投資を続けたことや、本年8月10日付「連結子会社からの事業譲受けおよび当該子会社の解散ならびに特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、連結子会社に係る特別損失32,798千円を計上したことにより、四半期純損失を計上しております。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は900,562千円、営業損失は434,726千円、経常損失は433,047千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は477,732千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,035,921千円となりました。

流動資産は2,809,909千円となり、主な内訳は現金及び預金が2,320,582千円、未収入金が185,148千円となっております。

固定資産は226,011千円となり、主な内訳は有形固定資産が76,178千円、投資その他の資産が147,319千円となっております。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,109,543千円となりました。

流動負債は1,061,708千円となり、主な内訳は、未払金が190,311千円、預り金が632,938千円となっております。

固定負債は47,835千円となり、主な内訳は、資産除去債務が37,431千円となっております。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,926,377千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の業績予想につきましては、平成27年11月12日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年8月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、当社は、グラフィック制作におけるクラウドソーシングのノウハウ獲得、及びゲーム業界内での事業基盤の確立等を目的として、既存株主からの株式買取により株式会社SeALの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後に実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成28年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,320,582
売掛金	155,528
未収入金	185,148
預け金	40,185
営業投資有価証券	68,264
その他	40,200
流動資産合計	2,809,909
固定資産	
有形固定資産	76,178
無形固定資産	2,513
投資その他の資産	147,319
固定資産合計	226,011
資産合計	3,035,921
負債の部	
流動負債	
短期借入金	80,000
1年内返済予定の長期借入金	5,165
未払金	190,311
未払法人税等	7,010
預り金	632,938
その他	146,283
流動負債合計	1,061,708
固定負債	
資産除去債務	37,431
その他	10,403
固定負債合計	47,835
負債合計	1,109,543
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,690,680
資本剰余金	1,648,680
利益剰余金	△1,411,025
株主資本合計	1,928,335
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△3,604
その他の包括利益累計額合計	△3,604
新株予約権	1,647
純資産合計	1,926,377
負債純資産合計	3,035,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
営業収益	900,562
営業費用	1,335,288
営業損失(△)	△434,726
営業外収益	
受取利息	179
業務受託手数料	450
講演料・原稿料等収入	1,508
その他	679
営業外収益合計	2,816
営業外費用	
支払利息	1,038
株式交付費	90
その他	10
営業外費用合計	1,138
経常損失(△)	△433,047
特別損失	
減損損失	32,798
特別損失合計	32,798
税金等調整前四半期純損失(△)	△465,846
法人税、住民税及び事業税	1,769
法人税等調整額	10,115
法人税等合計	11,885
四半期純損失(△)	△477,732
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△477,732

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	
四半期純損失(△)	△477,732
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△3,604
その他の包括利益合計	△3,604
四半期包括利益	△481,336
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△481,336
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントは「クラウドソーシング事業」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。